

佐賀市南商工会管内中小企業の経営課題に関するアンケート

報告書

概要版

令和8年1月

佐賀市南商工会

目 次

1. 調査の目的と内容	-----	2
1-1 調査の目的	-----	2
1-2 調査の概要	-----	2
2. アンケート調査結果分析	-----	3
2-1 回答企業の概要	-----	3
2-2 人手不足の現状や人材確保の取り組みについて	-----	6
2-3 デジタル化、DX 推進について	-----	8
2-4 事業承継について	-----	9
2-5 販路拡大、販路開拓について	-----	11
2-6 BCP について	-----	13
2-7 来客、売上の状況について	-----	15
2-8 自由記述	-----	15
3. まとめ・考察	-----	16
4. 参考資料	-----	19

1. 調査の目的と内容

1-1 調査の目的

佐賀市において、佐賀市南商工会も協力し、佐賀市内全域の事業者を対象に中小企業の経営課題に関するアンケート調査が実施された。この中から佐賀市南商工会管内事業者を抽出し、独自に分析して、結果を管内事業者などに周知し今後の事業展開や事業計画策定などにおいての参考資料として活用することを目的とする。

1-2 調査の概要

■対象者

- ・佐賀市南商工会管内事業者

■調査日時

- ・令和7年7月～8月

■調査項目

- ◆回答企業の概要
 - ・業種、従業員数、経営者の年代など
- ◆人手不足の現状や人材確保の取り組みについて
 - ・人手不足の現状
 - ・人材確保のために行っている取組
 - ・今後検討したい人材確保の取り組み
 - ・賃上げの現状について
 - ・人材確保・定着や賃上げに向けて工夫していること、今後取り組みたいこと
- ◆デジタル化、DX 推進について
 - ・デジタル化、DX 推進に関する取り組み状況
 - ・デジタル化、DX 推進についての課題
- ◆事業承継について
 - ・事業承継についての悩み
 - ・事業承継について求める支援
 - ・佐賀県事業承継・引継ぎセンターの無料アドバイスについて
- ◆販路拡大、販路開拓について
 - ・現在の主な販路
 - ・販路開拓のために取り組んでいること
 - ・販路開拓の課題
 - ・欲しい支援策
- ◆BCP について
 - ・BCP の策定について
 - ・策定済の方において BCP 策定時の支援の必要性
 - ・未策定の方において BCP 策定における課題
- ◆来客、売上の状況について
 - ・1年前と比較しての来客、売上の増減について
 - ・来客、売上増加の方においてその理由
- ◆自由記述

■回答数

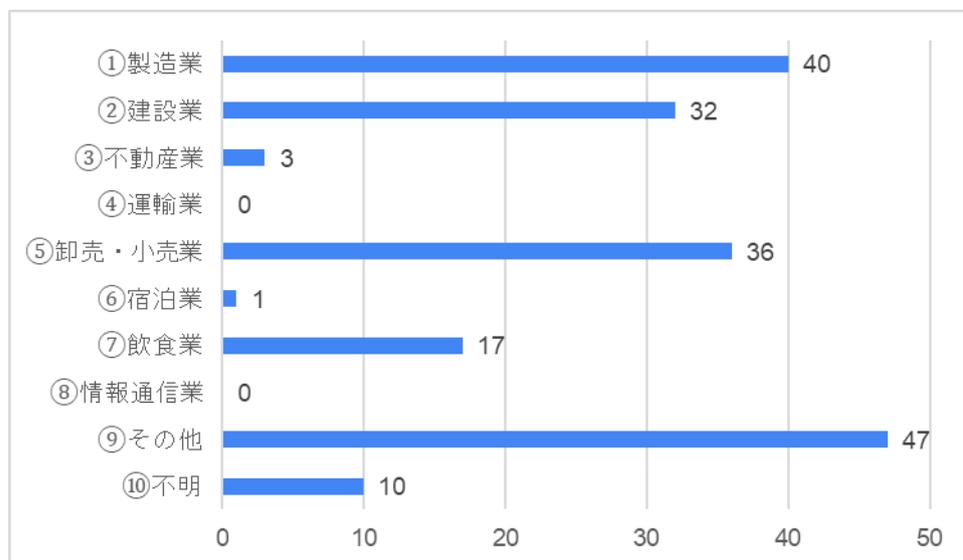
- ・186件の回答が得られている。

2. アンケート調査結果分析

2-1 回答企業の概要

(1) 業種

	回答数	割合(%)
①製造業	40	21.5
②建設業	32	17.2
③不動産業	3	1.6
④運輸業	0	0.0
⑤卸売・小売業	36	19.4
⑥宿泊業	1	0.5
⑦飲食業	17	9.1
⑧情報通信業	0	0.0
⑨その他	47	25.3
⑩不明	10	5.4
計	186	100.0

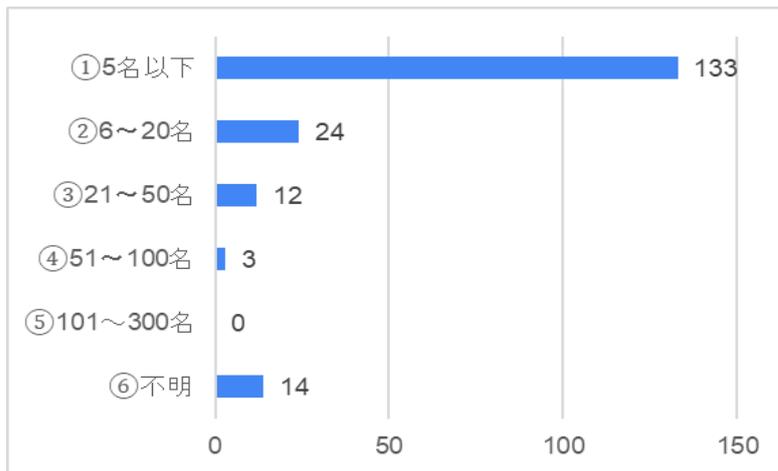


・「その他」が47件25%で最も多いが、内容は美容業や自動車整備業などのサービス業が主となっている。

・次いで、「製造業」が40件22%、「卸売・小売業」が36件19%、「建設業」が32件17%と続く。

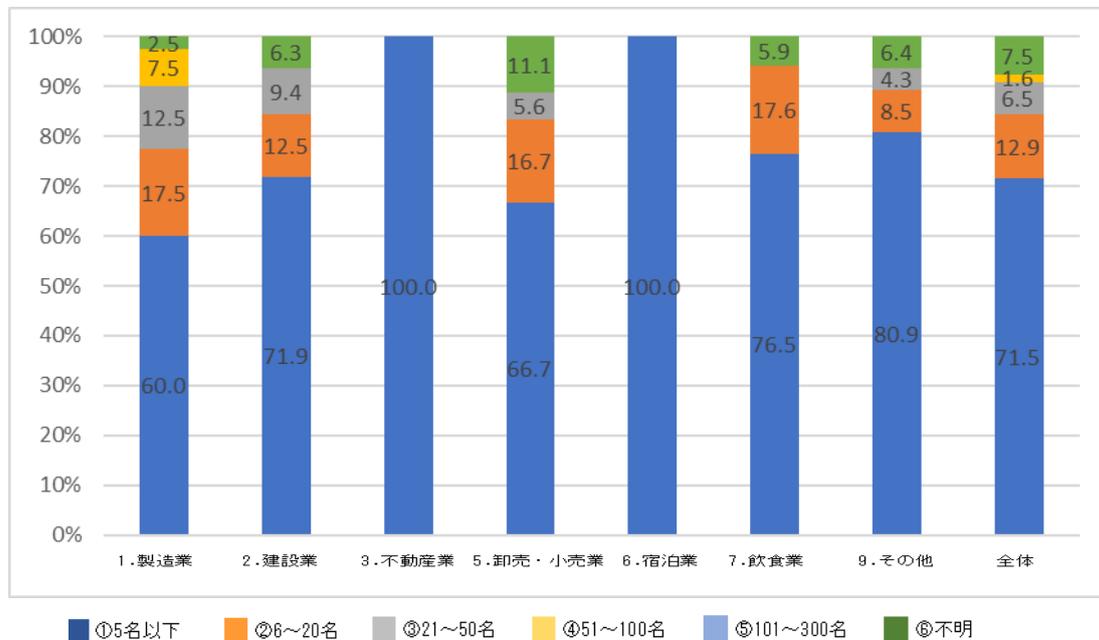
(2) 従業員数

	回答数	割合 (%)
①5名以下	133	71.5
②6～20名	24	12.9
③21～50名	12	6.5
④51～100名	3	1.6
⑤101～300名	0	0.0
⑥不明	14	7.5
計	186	100.0



・「従業員数」では、「5名以下」が133件72%で最も多い。次いで、「6～20名」24件13%、「21～50名」12件7%と続く。

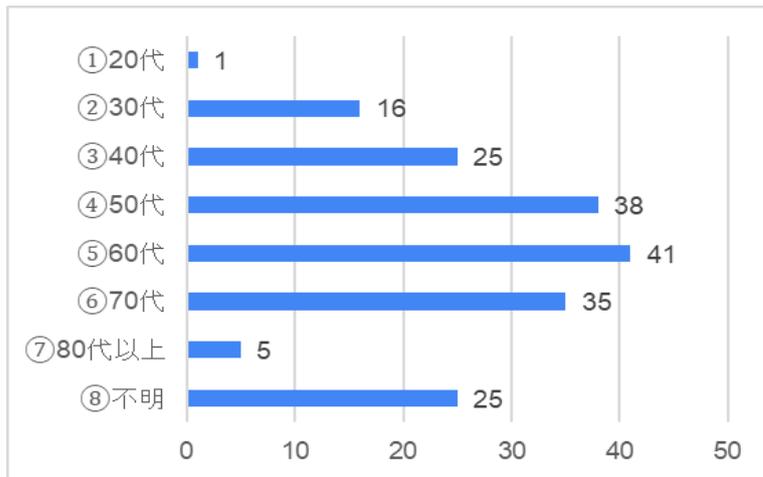
■業種とのクロス集計



・業種別では、製造業、卸売・小売業で従業員6名以上の企業割合が高い。

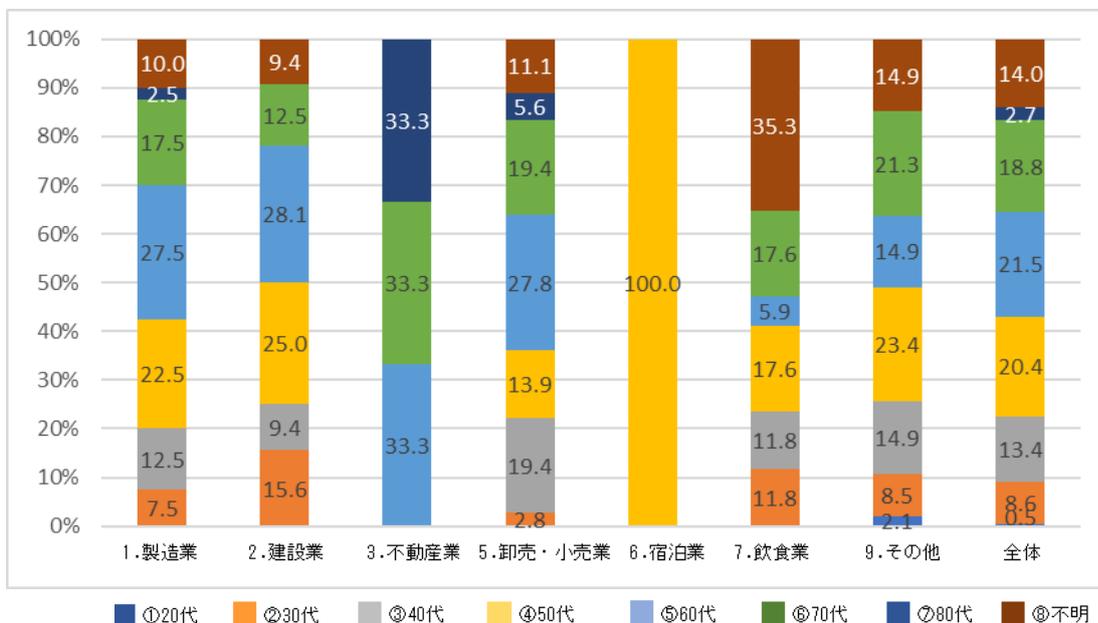
(3) 経営者の年代

	回答数	割合 (%)
①20代	1	0.5
②30代	16	8.6
③40代	25	13.4
④50代	38	20.4
⑤60代	41	22.0
⑥70代	35	18.8
⑦80代以上	5	2.7
⑧不明	25	13.4
計	186	100.0



・「経営者の年代」では、「60代」が41件22%で最も多い。次いで、「50代」38件20%、「70代」35件19%と続く。

■業種とのクロス集計

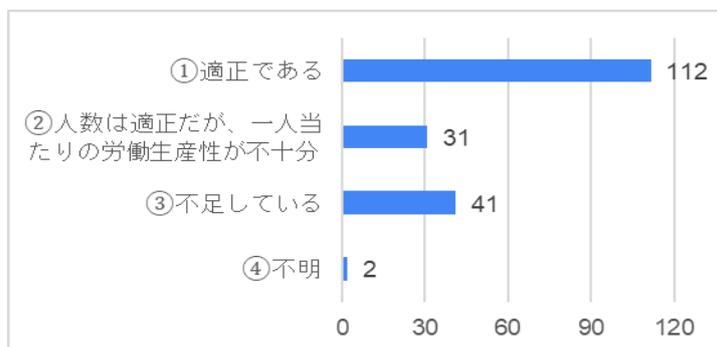


・業種別では、回答数が少ない不動産業、宿泊業を除いて、飲食業で70代の年代割合が高い。

2-2 人手不足の現状や人材確保の取組について

Q1. 人手不足の現状について教えてください。

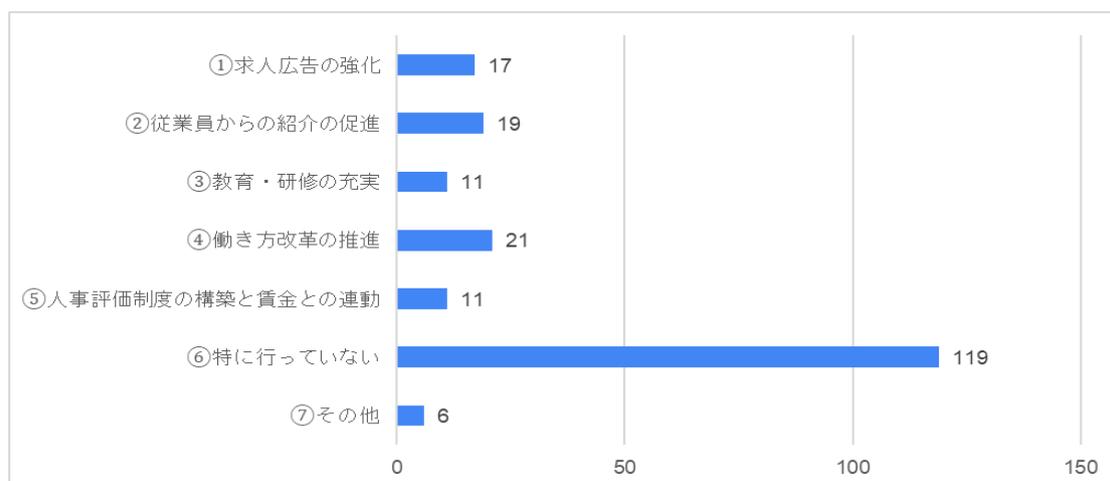
	回答数	割合(%)
①適正である	112	60.2
②人数は適正だが、一人当たりの労働生産性が不十分	31	16.7
③不足している	41	22.0
④不明	2	1.1
計	186	100.0



・「人手不足の現状」については、「適正である」が112件60%で最も多い。次いで、「不足している」41件22%、「人数は適正だが、一人当たりの労働生産性が不十分」31件17%と続く。

Q1-2. 人材確保のために現在行っている取組はどれですか。(複数選択可)

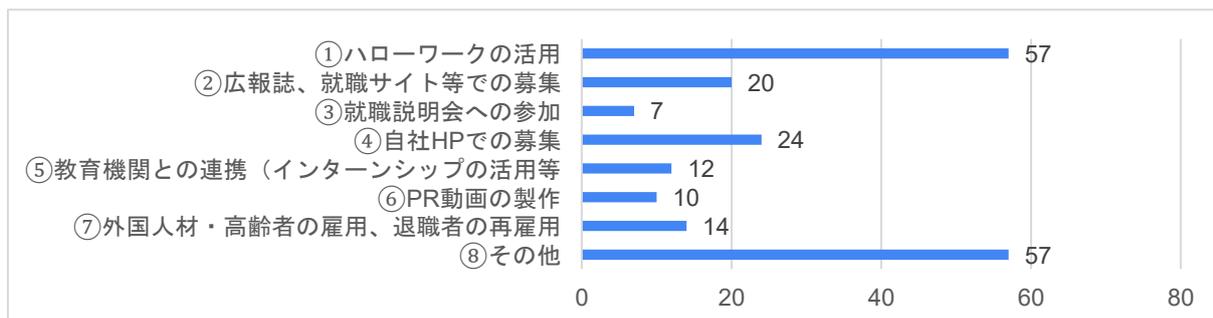
	回答数	割合(%)
①求人広告の強化	17	8.3
②従業員からの紹介の促進	19	9.3
③教育・研修の充実	11	5.4
④働き方改革の推進	21	10.3
⑤人事評価制度の構築と賃金との連動	11	5.4
⑥特に行っていない	119	58.3
⑦その他	6	2.9
計	204	100.0



・「人材確保のために現在行っている取組」では、「特に行っていない」が119件58%で最も多い。次いで、「働き方改革の推進」、「従業員からの紹介の促進」、「求人広告の強化」と続く。

Q1-3. 今後検討したい人材確保の取組について教えてください。(複数選択可)

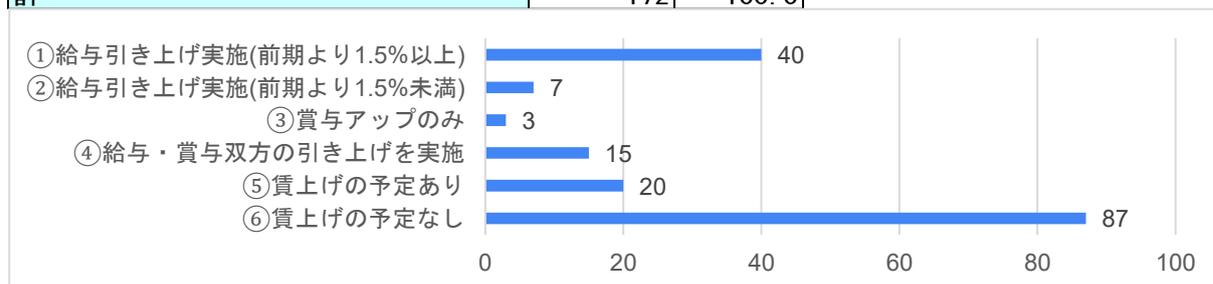
	回答数	割合 (%)
①ハローワークの活用	57	28.4
②広報誌、就職サイト等での募集	20	10.0
③就職説明会への参加	7	3.5
④自社HPでの募集	24	11.9
⑤教育機関との連携（インターンシップの活用等）	12	6.0
⑥PR動画の製作	10	5.0
⑦外国人材・高齢者の雇用、退職者の再雇用	14	7.0
⑧その他	57	28.4
計	201	100.0



・「今後検討したい人材確保の取組」については、「ハローワークの活用」が57件28%で最も多い。また同値で「その他」となっており「知人からの紹介」などがあげられている。これらに次いで、「自社HPでの募集」、「広報誌、就職サイト等での募集」と続く。

Q2. 賃上げの現状について教えてください。

	回答数	割合 (%)
①給与引き上げ実施(前期より1.5%以上)	40	23.3
②給与引き上げ実施(前期より1.5%未満)	7	4.1
③賞与アップのみ	3	1.7
④給与・賞与双方の引き上げを実施	15	8.7
⑤賃上げの予定あり	20	11.6
⑥賃上げの予定なし	87	50.6
計	172	100.0



・「賃上げの現状について」については、「賃上げの予定なし」が87件51%で最も多い。次いで、「給与引き上げ実施(前期より1.5%以上)」、「賃上げの予定あり」、「給与・賞与双方の引き上げを実施」と続く。

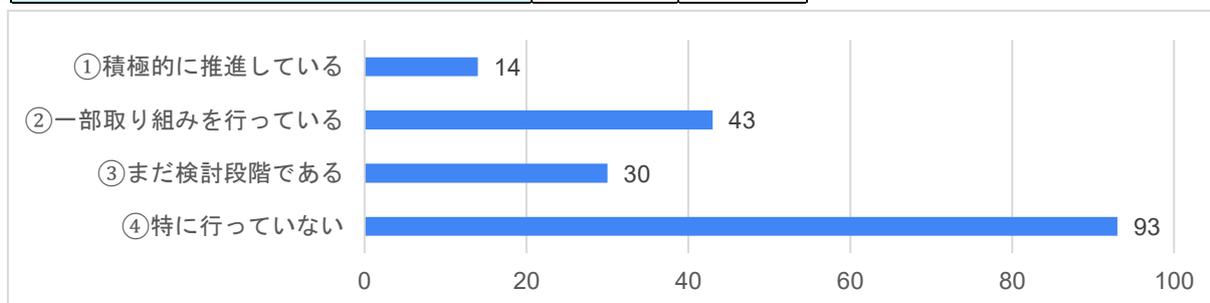
Q3. 人材確保・定着や賃上げに向けて工夫していること、今後取り組みたいと考えていることを教えてください。

・「人材確保・定着や賃上げに向けての工夫点や今後の取り組み」については、「働きやすい環境づくり」、「生産性の向上」、「売上・収益力の向上」、「賃金アップと働き方の向上」などの意見がでている。

2-3 デジタル化、DX 推進について

Q4. デジタル化やDX 推進に関して、現在の取組状況はどれに近いですか。

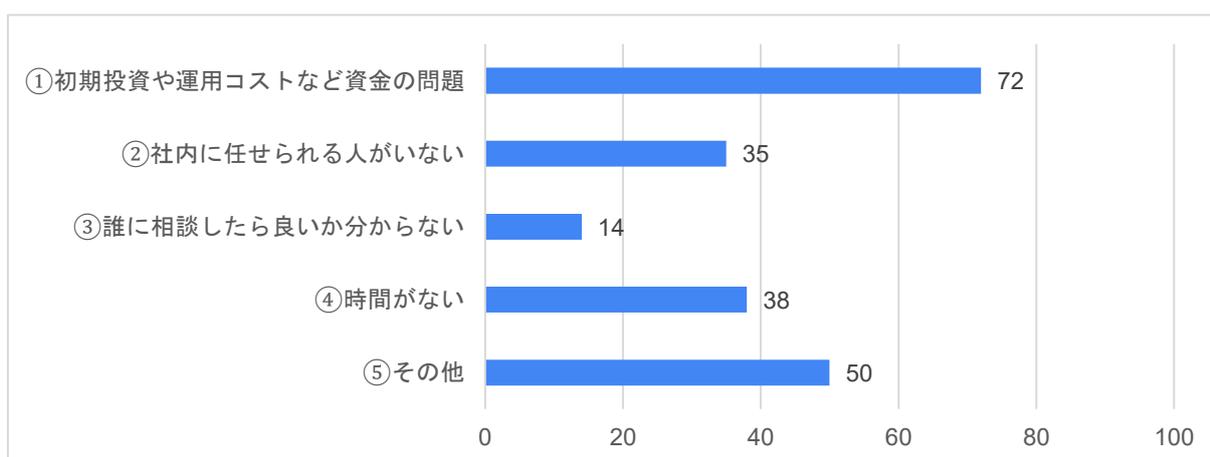
	回答数	割合 (%)
①積極的に推進している	14	7.8
②一部取り組みを行っている	43	23.9
③まだ検討段階である	30	16.7
④特に行っていない	93	51.7
計	180	100.0



・「デジタル化やDX 推進」については、「特に行っていない」が93件52%で最も多い。次いで、「一部取り組みを行っている」と続く。「積極的に推進している」は14件8%となっている。
 ・「積極的に推進している」方は具体的には、「アプリ導入」、「クラウド化」などに取り組み、
 「一部取り組みを行っている」方は具体的には、「受注、会計、経理システム、顧客管理などの導入」などに取り組みられている。

Q4-2. デジタルやDX 推進において、最も大きな課題は何ですか。(複数回答可)

	回答数	割合 (%)
①初期投資や運用コストなど資金の問題	72	34.4
②社内に任せられる人がいない	35	16.7
③誰に相談したら良いか分からない	14	6.7
④時間がない	38	18.2
⑤その他	50	23.9
計	209	100.0

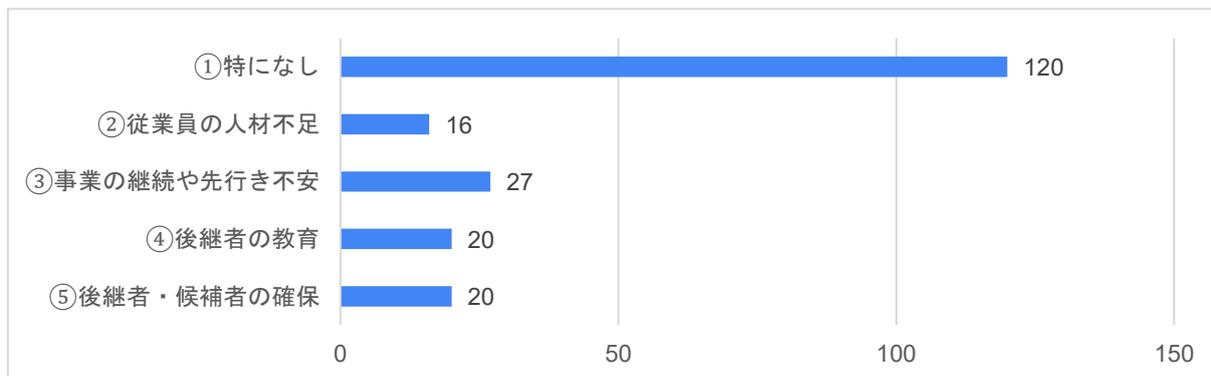


・「デジタルやDX 推進の課題」については、「初期投資や運用コストなど資金の問題」が72件34%で最も多い。次いで、「その他」、「時間がない」、「社内に任せられる人がいない」と続く。その他では、「デジタル推進などがわからない」、「必要性を感じない」などが回答されている。

2-4 事業承継について

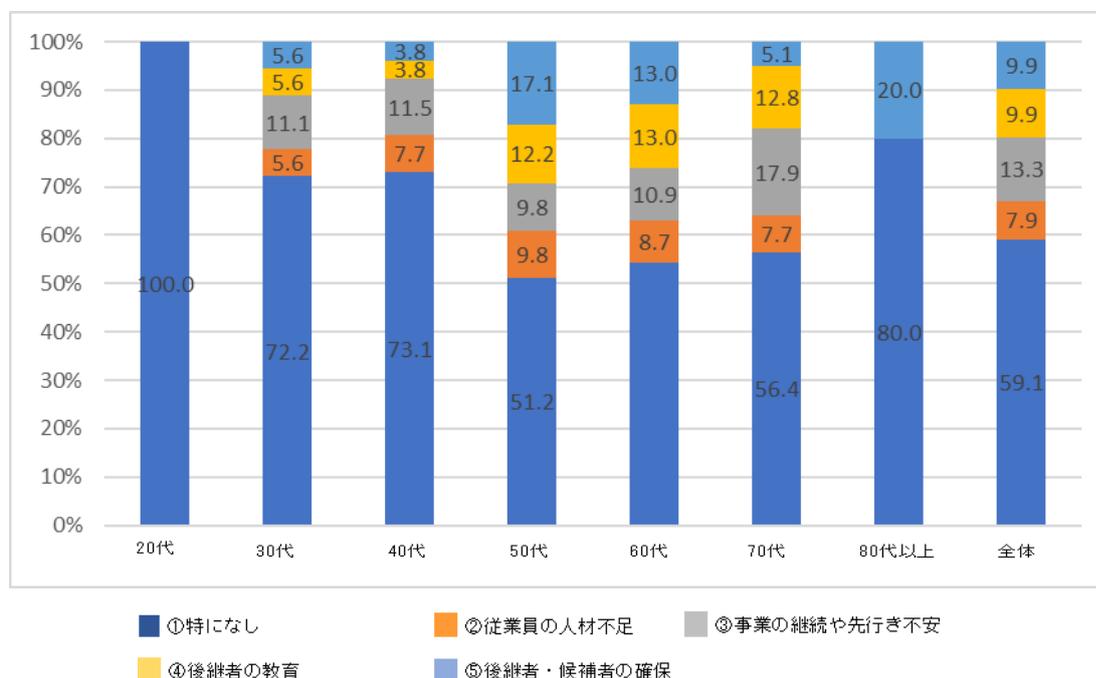
Q5. 事業承継についての悩みを教えてください。(複数選択可)

	回答数	割合(%)
①特になし	120	59.1
②従業員の人材不足	16	7.9
③事業の継続や先行き不安	27	13.3
④後継者の教育	20	9.9
⑤後継者・候補者の確保	20	9.9
計	203	100.0



・「事業承継についての悩み」については、「特になし」が120件59%で最も多い。具体的な悩みについては、「事業の継続や先行き不安」が27件13%であり、次いで「後継者の教育」、「後継者・候補者の確保」と続く。

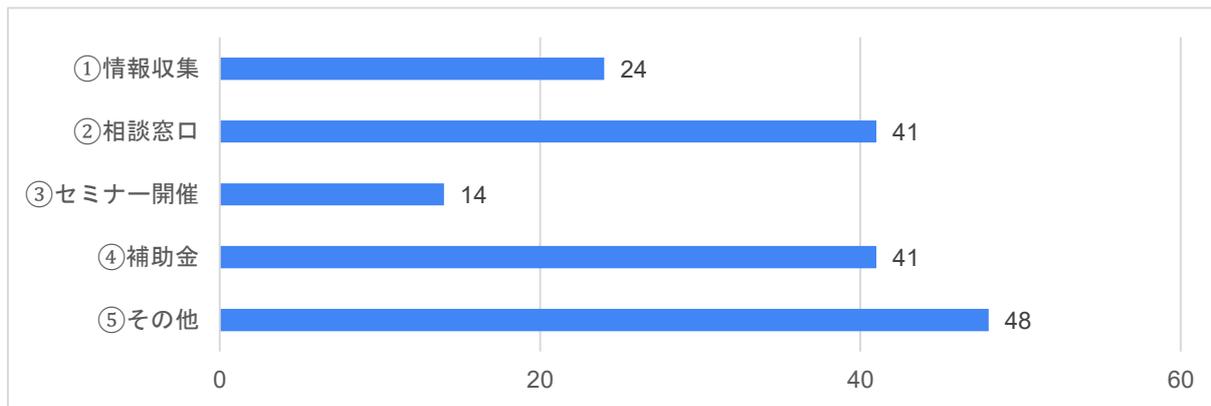
■経営者年代とのクロス集計



・経営者の年代別にみると、50代～70代の経営者において悩みの割合が高くなっている。特に70代においては「事業の継続や先行き不安」の割合が他の年代と比較して高くなっている。80代以上においては、「後継者・候補者の確保」の割合が他の年代と比較して高くなっている。

Q6. 事業承継について求める支援は何ですか。

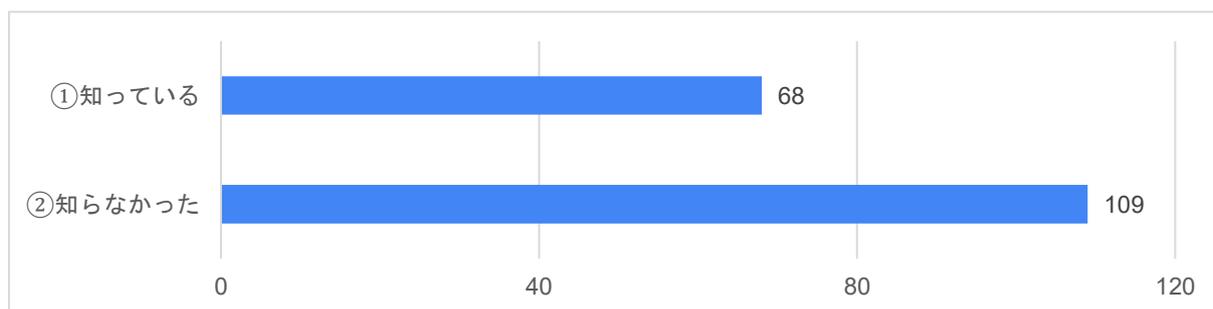
	回答数	割合 (%)
①情報収集	24	14.3
②相談窓口	41	24.4
③セミナー開催	14	8.3
④補助金	41	24.4
⑤その他	48	28.6
計	168	100.0



・「事業承継について求める支援」については、「その他」が48件29%で最も多くなっているが、具体的コメントでは、「承継は考えていない」とする意見が多くでている。よって、支援策としては、「相談窓口」、「補助金」が上位を占める。

Q7. 佐賀県事業承継・引継ぎ支援センター(<https://www.saga-hikitugi.go.jp/>)で、事業承継のアドバイスが無料で受けられることを知っていますか。

	回答数	割合 (%)
①知っている	68	38.4
②知らなかった	109	61.6
計	177	100.0

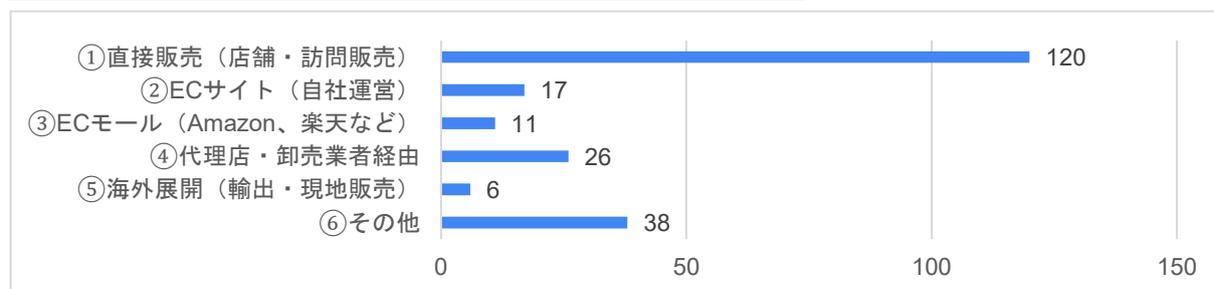


・「佐賀県事業承継・引継ぎ支援センター」については、「知らなかった」が109件62%で、「知っている」を上回っている。

2-5 販路拡大、販路開拓について

Q8. 現在の主な販路を教えてください。(複数選択可)

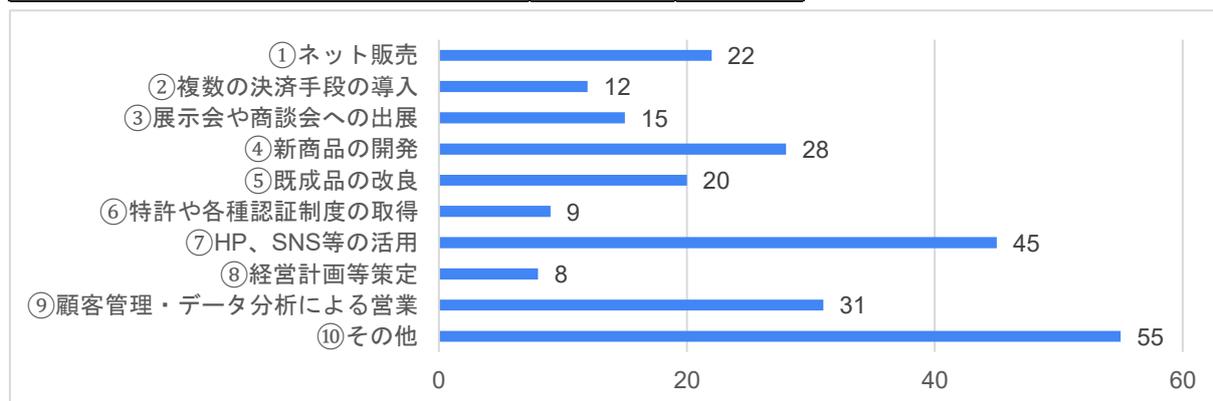
	回答数	割合(%)
①直接販売(店舗・訪問販売)	120	55.0
②ECサイト(自社運営)	17	7.8
③ECモール(Amazon、楽天など)	11	5.0
④代理店・卸売業者経由	26	11.9
⑤海外展開(輸出・現地販売)	6	2.8
⑥その他	38	17.4
計	218	100.0



・「現在の主な販路」については、「直接販売(店舗・訪問販売)」が120件55%で最も多い。次いで、「その他」、「代理店・卸売業者経由」と続く。その他では、「下請け」、「固定のお客様」などが回答されている。

Q8-2. 販路開拓について、現在力を入れて取り組まれているものを教えてください。(複数選択可)

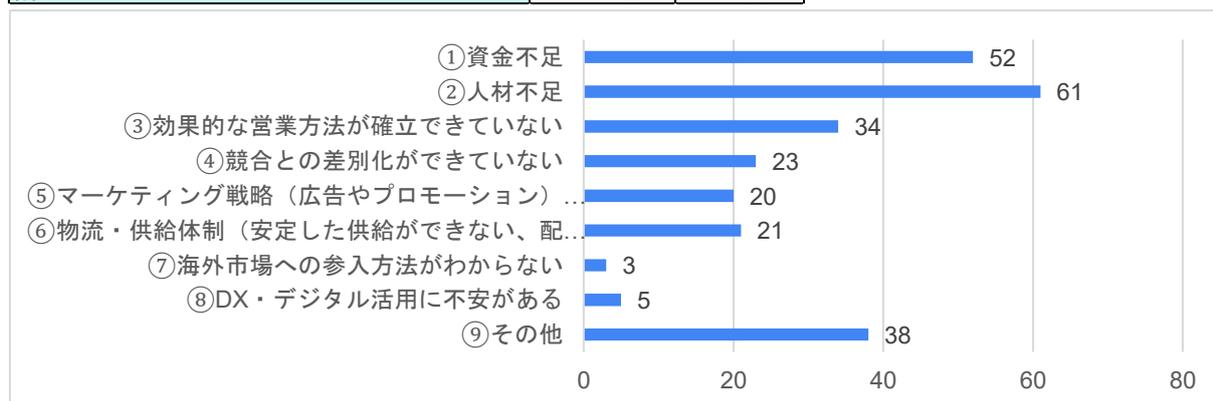
	回答数	割合(%)
①ネット販売	22	9.0
②複数の決済手段の導入	12	4.9
③展示会や商談会への出展	15	6.1
④新商品の開発	28	11.4
⑤既成品の改良	20	8.2
⑥特許や各種認証制度の取得	9	3.7
⑦HP、SNS等の活用	45	18.4
⑧経営計画等策定	8	3.3
⑨顧客管理・データ分析による営業	31	12.7
⑩その他	55	22.4
計	245	100.0



・「販路開拓について、現在力を入れて取り組まれているもの」については、「その他」が最も多くなっていて、「加入団体などからの紹介」、「取引先との関係性強化」などがあげられている。その他以外では、「HP、SNS等の活用」が多くなっており、次いで「顧客管理・データ分析による営業」、「新商品の開発」、「ネット販売」と続く。

Q8-3. 販路開拓での主な課題は何ですか?(複数選択可)

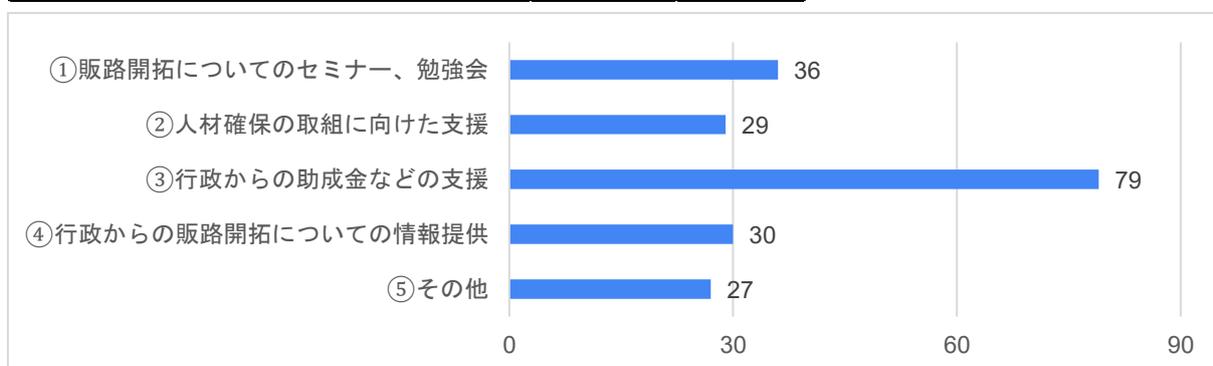
	回答数	割合(%)
①資金不足	52	20.2
②人材不足	61	23.7
③効果的な営業方法が確立できていない	34	13.2
④競合との差別化ができていない	23	8.9
⑤マーケティング戦略(広告やプロモーション)が不明確	20	7.8
⑥物流・供給体制(安定した供給ができない、配送コストが高い等)	21	8.2
⑦海外市場への参入方法がわからない	3	1.2
⑧DX・デジタル活用に不安がある	5	1.9
⑨その他	38	14.8
計	257	100.0



・「販路開拓での主な課題」については、「人材不足」が61件24%で最も多い。次いで、「資金不足」と続く。その他では、「タイミング・やる気」、「内製化」などがあげられている。

Q8-4. どのような支援があると効果が出ると思いますか。(複数選択可)

	回答数	割合(%)
①販路開拓についてのセミナー、勉強会	36	17.9
②人材確保の取組に向けた支援	29	14.4
③行政からの助成金などの支援	79	39.3
④行政からの販路開拓についての情報提供	30	14.9
⑤その他	27	13.4
計	201	100.0

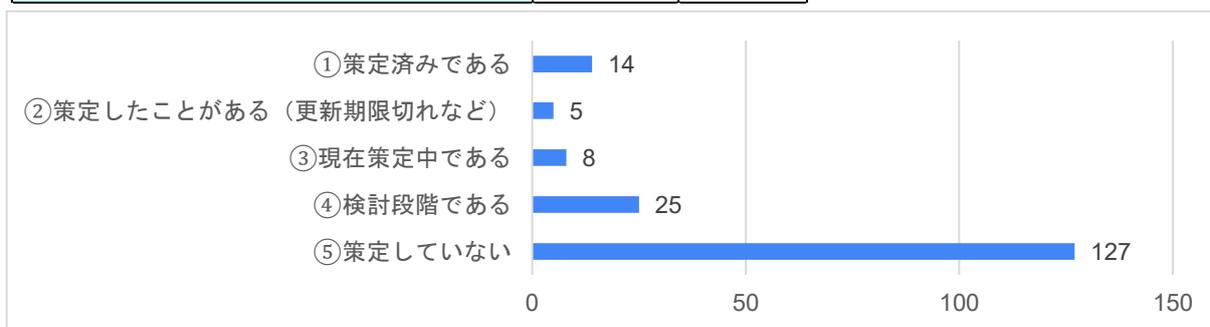


・「効果がある支援策」については、「行政からの助成金などの支援」が79件39%で最も多い。次いで、「販路開拓についてのセミナー、勉強会」と続く。その他では、「社内のやる気を高める」、「複数年取り組める補助金」などがあげられている。

2-6 BCPについて

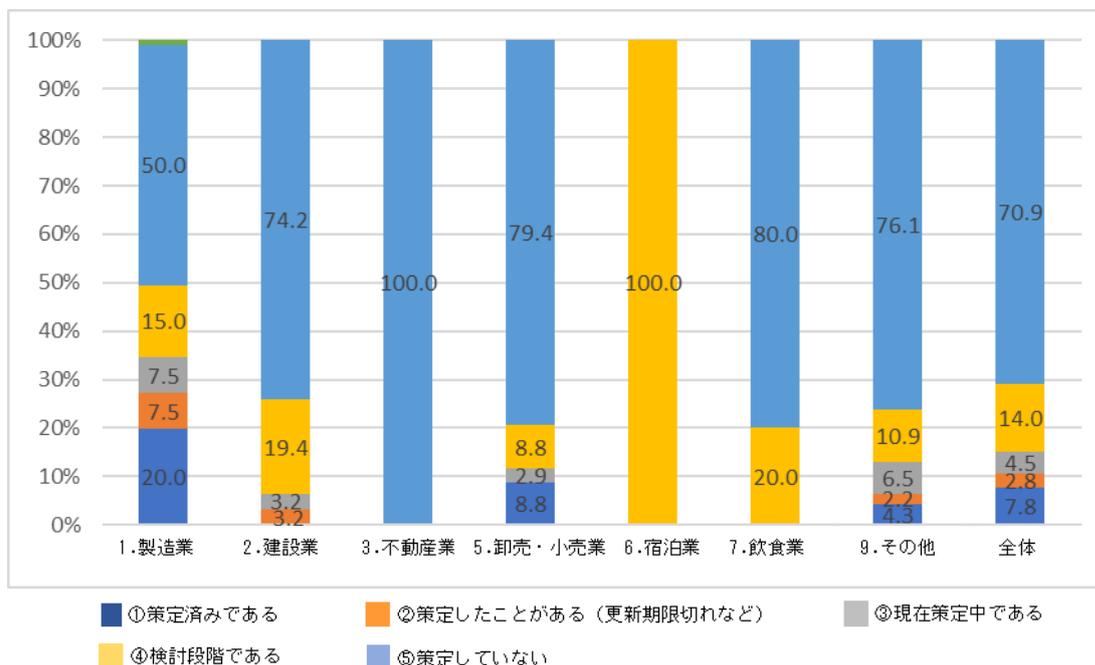
Q9. BCP（事業継続計画、又は事業継続力強化計画）を策定していますか。

	回答数	割合(%)
①策定済みである	14	7.8
②策定したことがある（更新期限切れなど）	5	2.8
③現在策定中である	8	4.5
④検討段階である	25	14.0
⑤策定していない	127	70.9
計	179	100.0



・「BCPの策定」については、「策定していない」が127件71%で最も多い。次いで、「検討段階である」と続く。「策定済みである」は14件8%となっている。

■業種とのクロス集計

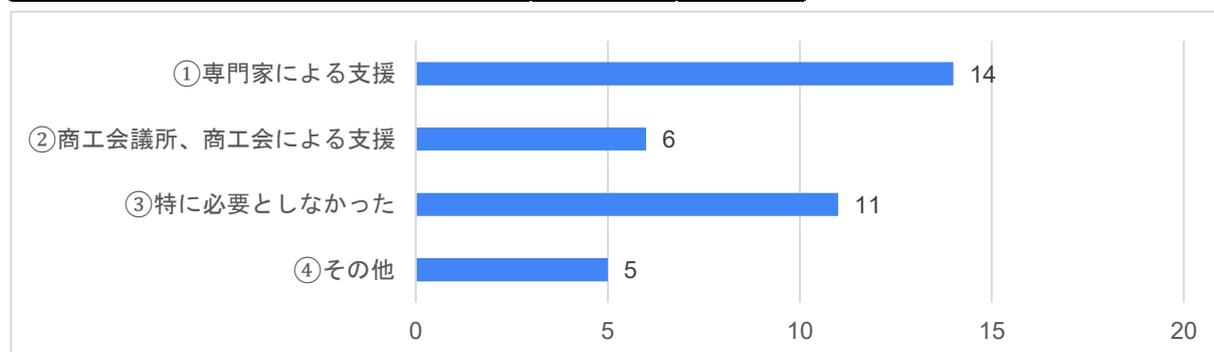


・業種別では、各業種で「策定していない」の割合が高い。なお製造業は機械などが導入されており災害に対する意識も高いと思われ、「策定済みである」の割合が高くなっている。

→上記Q9で、「①～③」を選択された方にお伺いします。

Q9-2. BCP策定にあたり支援を必要としましたか？

	回答数	割合 (%)
①専門家による支援	14	38.9
②商工会議所、商工会による支援	6	16.7
③特に必要としなかった	11	30.6
④その他	5	13.9
計	36	100.0

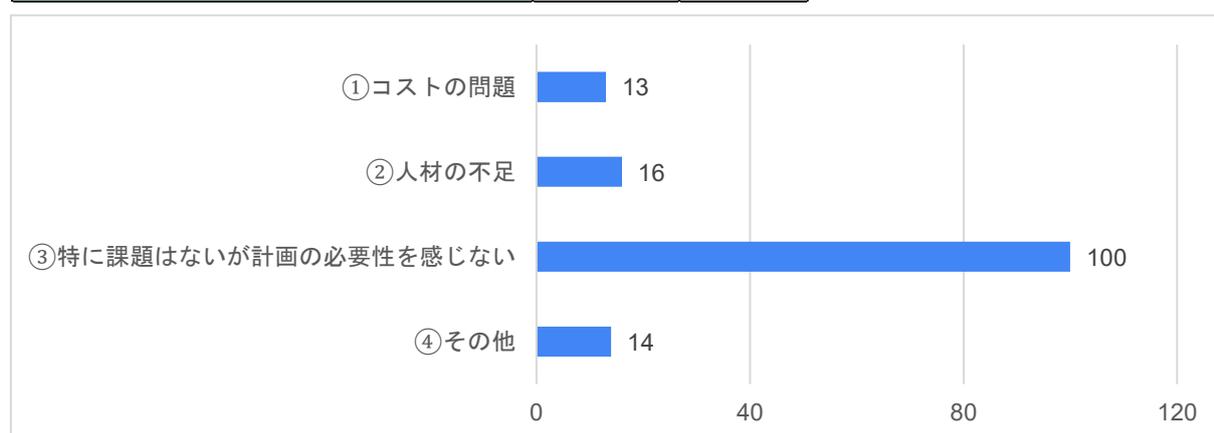


・策定済の方や現在策定中である方について「支援の必要」では、「専門家による支援」が最も多く、次いで、「特に必要としなかった」と続く。

→上記Q9で、「④、⑤」を選択された方にお伺いします。

Q9-3. BCP策定にあたり最も大きな課題は何ですか？

	回答数	割合 (%)
①コストの問題	13	9.1
②人材の不足	16	11.2
③特に課題はないが計画の必要性を感じない	100	69.9
④その他	14	9.8
計	143	100.0

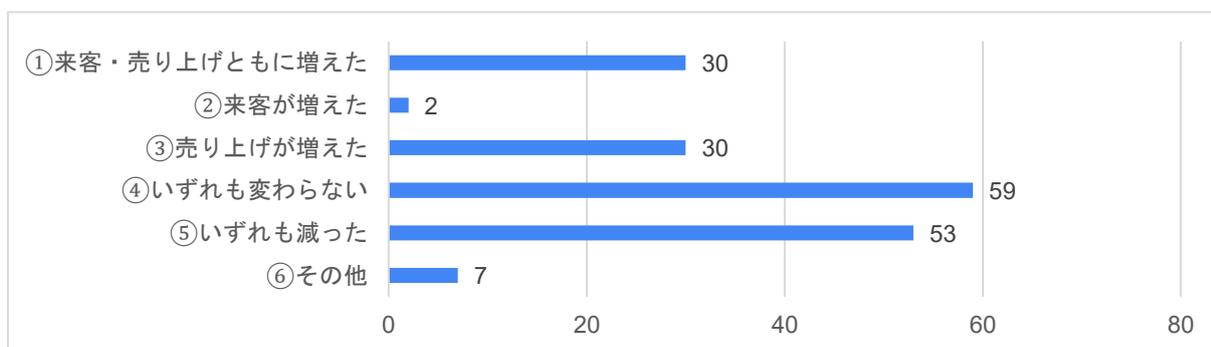


・検討段階や策定していない方の「策定にあたっての課題」については、「特に課題はないが計画の必要性を感じない」が100件70%で最も多い。その他でも「わからない」とする意見が多くでている。

2-7 来客・売上の状況について

Q10. 一年前(令和6年1月~6月)と比較して、来客・売上は増えましたか。

	回答数	割合(%)
①来客・売り上げともに増えた	30	16.6
②来客が増えた	2	1.1
③売り上げが増えた	30	16.6
④いずれも変わらない	59	32.6
⑤いずれも減った	53	29.3
⑥その他	7	3.9
計	181	100.0

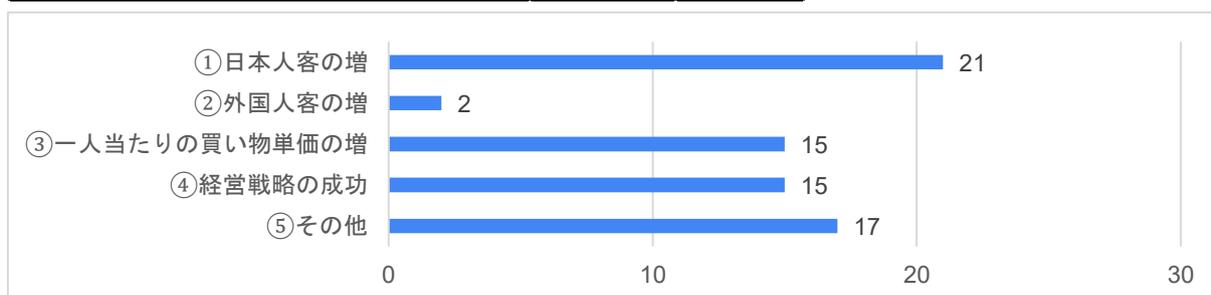


・「来客・売上の増減」については、「いずれも変わらない」が59件33%で最も多い。次いで、「いずれも減った」と続く。

上記Q10で、「①~③増えた」を選択された方にお伺いします。

Q10-2. それはどのような理由からですか。(複数選択可)

	回答数	割合(%)
①日本人客の増	21	30.0
②外国人客の増	2	2.9
③一人当たりの買い物単価の増	15	21.4
④経営戦略の成功	15	21.4
⑤その他	17	24.3
計	70	100.0



・「①~③増えた」と答えられた方の「理由」については、「日本人客の増」が最も多い。次いで、「その他」、「一人当たりの買い物単価の増」、「経営戦略の成功」と続く。その他では、「価格転換」、「取引の拡大」などがあげられている。「経営戦略の成功」の具体的回答では、「新商品の開発」、「メニューの増加・変更」などがあげられている。

2-8 自由記述

■その他抱えられている経営課題や市の経営支援施策に関して、ご意見・ご要望があればご記載下さい。・自由記述で、課題としては「価格転換ができないこと」、要望として「補助金の充実」などが回答されている。

3. まとめ・考察

2-1 回答企業の概要

- ・回答数は 186 件である。
- ・業種内訳は、製造業が 22%、建設業 17%、卸売・小売業 19%、飲食業 9%、その他(主に美容業や自動車整備業などサービス業)25%となっている。
- ・従業員数は、5 名以下が 72%であり、6~20 名が 13%で、両方合わせて 85%である。
- ・経営者の年代は、50 代~70 代が 6 割を占める。最も多い年代は 60 代である。

2-2 人手不足の現状や人材確保の取り組みについて

■人手不足の現状

- ・人手不足の現状では、人手は「適正である」が 60%を占め最も多く、「人数は適正だが、一人当たりの労働生産性が不十分」が 17%となっている。一方、「不足している」は 22%となっている。
- ・今後、労働生産性を高めていくこと、人手不足に対応していくことが求められる。特に、製造業、建設業では人手不足への対応が強く求められている。

■人材確保のために行っている取組

- ・人材確保のために行っている取組では、人材不足の現状で適正であるが 60%となっている中、取り組みは「特に行っていない」とする回答割合が同じく 60%程度となっている。
- ・具体的に人材確保を行っているとの回答の中では、「働き方改革の推進」、「従業員からの紹介の促進」、「求人広告の強化」が多くあがっている。
- ・内部体制を整えるとともに身内や広告募集を行われている。

■今後検討したい人材確保の取り組み

- ・今後検討したい取り組みとしては、「ハローワークの活用」との回答が最も多い。次いで、「自社 HP での募集」、「広報誌、就職サイト等での募集」と続く。ハローワークで募集していても人材が確保できないという話を聞くが、広報誌などをうまく活用することや、PR 動画を製作し自社 HP で紹介するなど、工夫した取り組みが求められる。

■賃上げの現状について

- ・賃上げの現状では、「賃上げの予定なし」が 50%で最も多くなっているが、残り 40%は「給与引き上げ」や「給与・賞与など」を実行されており、残り 10%は「今後賃上げを予定」されている。
- ・全国的に最低賃金引き上げが続く中、賃金引上げに対応せざるを得ない状況が生じていると思われる。

■人材確保・定着や賃上げに向けて工夫していること、今後取り組みたいこと

- ・人材確保のための工夫点や今後取り組みたいこととしては、「働きやすい環境づくり」、「生産性向上」など内部体制づくりと、「売上・収益の向上」など売上・利益を高めていくことが求められている。これらの取り組みを支援していくことが求められる。

2-3 デジタル化、DX 推進について

■デジタル化、DX 推進に関する取り組み状況

・デジタル化、DX 推進については、「特に行っていない」が約 50%で、「行っている」が約 30%、「検討段階」が約 20%となっている。

・具体的に取り組まれている内容では、経理システムなどの導入が多くなっている。

・業種別では、製造業、建設業、卸売・小売業での取り組みが多くなっている。

■デジタル化、DX 推進についての課題

・課題は、「初期投資や運用コストなど資金の問題」が 34%で最も多く、次いで、「時間がない」、「社内に任せられる人がいない」と続く。

・デジタル化などを考える余裕がないものと考えられるが、効率化を高めるために重要な取組であり、意識の醸成から進めていく必要がある。資金不足については、補助の活用を進めていくことが望まれる。

2-4 事業承継について

■事業承継についての悩み

・事業所の将来や継続を考えないといけない 50 代以降の経営者において、悩みが多い状況となっている。

■事業承継について求める支援

・支援策としては、「相談窓口」、「補助金」が求められている。事業承継に関する補助金を活用することや、佐賀市南商工会や佐賀県事業承継・引継ぎセンターなどに積極的に相談していただくことが求められる。

2-5 販路拡大、販路開拓について

■現在の主な販路

・店舗などでの直接販売が約 50%で主となっている。EC サイト、EC モールでは約 10%が主な販路とされている。

■販路開拓のために取り組んでいること

・「HP、SNS 等の活用」、「ネット販売」で約 30%であり、最も多くなっている。次いで、「顧客管理・データ分析による営業」、「新商品の開発」と続く。これらの取り組み支援が求められる。

■販路開拓の課題

・課題は、「人材不足」、「資金不足」が上位にあげられている。余裕がないものと考えられるが、販路開拓は重要な取組であり、検討を進めていただきたいと考える。

■欲しい支援策

・支援策では、「行政からの助成金などの支援」が上位となっている。次いで、「販路開拓についてのセミナー、勉強会」と続く。

・現在ある補助金制度の勉強会を行い、補助金活用を進めていくことが望まれる。

2-6 BCPについて

■BCPの策定について

・BCPについては、約70%が策定していない状況である。「策定済(過去分含む)」、「策定中」が約15%、検討中が約15%となっている。

・業種別では製造業の策定割合が高い。

■策定済の方においてBCP策定時の支援の必要性

・策定支援では「専門家による支援」、「商工会議所、商工会による支援」が必要であることがあげられている。

■未策定の方においてBCP策定における課題

・「計画の必要性を感じない」が7割を占める。BCP計画は重要な取組であり、意識醸成から計画策定を進めていく必要がある。

2-7 来客、売上の状況について

■1年前と比較しての来客、売上の増減について

・「いずれも変わらない」が約30%、「いずれも減った」が約30%、「来客や売上の片方又は両方が増えた」が約30%となっている。

■来客、売上増加の方においてその理由

・理由は、「日本人客の増」が約30%、「一人当たりの買い物単価の増」、「経営戦略の成功」がいずれも約20%となっている。

・「経営戦略の成功」では、具体的に「新商品の開発」、「メニューの増加・変更」などがあげられている。

・自社の経営分析などを進め、戦略的な取り組みを計画していくことが求められる。

2-8 自由記述

・課題は「価格転換ができないこと」、要望として「補助金の充実」などが回答されている。これらの支援を行っていくことが求められる。

4. 参考資料

◇「市内中小企業の経営課題に関するアンケート」調査票

市内中小企業の経営課題に関するアンケート	
佐賀市(経済政策課)及び佐賀商工会議所・佐賀市北商工会・佐賀市南商工会の協同アンケートです。	
今後の取組の参考とするため、ご回答へのご協力をよろしくお願いいたします。	
※QRコードを読み取っての回答も可能です→	
	
◆貴社の概要を教えてください◆	
所属: ①佐賀商工会議所 ②佐賀市北商工会 ③佐賀市南商工会 ④その他	
貴社名(任意):()	
業種: ①製造業 ②建設業 ③不動産業 ④運輸業 ⑤卸売・小売業 ⑥宿泊業 ⑦飲食業 ⑧情報通信業 ⑨その他()	
従業員数:①5名以下 ②6～20名 ③21～50名 ④51～100名 ⑤101～300名	
経営者の年代:①20代 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代 ⑥70代 ⑦80代以上	
◆人手不足の現状や人材確保の取組について	
Q1.人手不足の現状について教えてください。	
①適正である ②人数は適正だが、一人当たりの労働生産性が不十分 ③不足している(採用予定数: _____名、令和7年度新規雇用者数: _____名)	
Q1-2.人材確保のために現在行っている取組はどれですか。(複数選択可)	
①求人広告の強化 ②従業員からの紹介の促進 ③教育・研修の充実 ④働き方改革の推進 ⑤人事評価制度の構築と賞金との連動 ⑥特に行っていない ⑦その他()	
Q1-3.今後検討したい人材確保の取組について教えてください。(複数選択可)	
①ハローワークの活用 ②広報誌、就職サイト等での募集 ③就職説明会への参加 ④自社HPでの募集 ⑤教育機関との連携(インターンシップの活用等) ⑥PR動画の製作 ⑦外国人材・高齢者の雇用、退職者の再雇用 ⑧その他()	
Q2.賃上げの現状について教えてください。	
①給与引き上げ実施(前期より1.5%以上) ②給与引き上げ実施(前期より1.5%未満) ③賞与アップのみ ④給与・賞与双方の引き上げを実施 ⑤賃上げの予定あり ⑥賃上げの予定なし	
Q3. 人材確保・定着や賃上げに向けて工夫していること、今後取り組みたいと考えていることを教えてください。	
[]	
◆デジタル化、DX推進について	
Q4. デジタル化やDX推進に関して、現在の取り組み状況はどれに近いですか?	

- ①積極的に推進している(具体的に:)
- ②一部取り組みを行っている(具体的に:)
- ③まだ検討段階である ④特に行っていない

Q4-2. デジタルや DX 推進において、最も大きな課題は何ですか？(複数回答可)

- ①初期投資や運用コストなど資金の問題 ②社内に任せられる人がいない
- ③誰に相談したら良いか分からない ④時間がない ⑤その他()

※佐賀市では、市内企業の DX 推進に向けた草の根活動として、取り組みの共有や情報交換を行う企業交流のための座談会を隔月(原則 偶数月の第3水曜日16:30~)で開催中です。人手不足や生産性向上に課題を抱える企業など様々な悩みや取り組みを共有し合いませんか？お気軽にご参加ください。

◆事業承継について

Q5. 事業承継についての悩みを教えてください。(複数選択可)

- ①特になし ②従業員の人材不足 ③事業の継続や先行き不安
- ④後継者の教育 ⑤後継者・候補者の確保

Q6. 事業承継について求める支援は何ですか。

- ①情報収集(求める内容:) ②相談窓口
- ③セミナー開催(求める内容:)
- ④補助金(対象:) ⑤その他()

Q7. 佐賀県事業承継・引継ぎ支援センター(<https://www.saga-hikitsugi.go.jp/>)で、事業承継のアドバイスが無料で受けられることを知っていますか。

- ①知っている ②知らなかった

◆販路拡大、販路開拓について

Q8. 現在の主な販路を教えてください。(複数選択可)

- ① 直接販売(店舗・訪問販売) ② EC サイト(自社運営) ③ EC モール(Amazon、楽天など)
- ④ 代理店・卸売業者経由 ⑤ 海外展開(輸出・現地販売)
- ⑥ その他()

Q8-2. 販路開拓について、現在力を入れて取り組まれているものを教えてください。(複数選択可)

- ①ネット販売 ②複数の決済手段の導入 ③展示会や商談会への出展
- ④新商品の開発 ⑤既製品の改良 ⑥特許や各種認証制度の取得
- ⑦HP、SNS 等の活用 ⑧経営計画等策定 ⑨顧客管理・データ分析による営業
- ⑩その他()

Q8-3. 販路開拓での主な課題は何ですか？(複数選択可)

- ①資金不足 ②人材不足 ③ 効果的な営業方法が確立できていない
- ④競合との差別化ができていない ⑤マーケティング戦略(広告やプロモーション)が不明確
- ⑥物流・供給体制(安定した供給ができない、配送コストが高い等)

- ⑦海外市場への参入方法がわからない ⑧DX・デジタル活用に不安がある
⑨その他()

Q8-4. どのような支援策があれば効果が出ると思いますか。(複数選択可)

- ①販路開拓についてのセミナー、勉強会 ②人材確保の取組に向けた支援
③行政からの助成金などの支援 ④行政からの販路開拓についての情報提供
⑤その他()

◆BCPについて

Q9. BCP(事業継続計画、又は事業継続力強化計画)を策定していますか。

- ①策定済みである ②策定したことがある(更新期限切れなど) ③現在策定中である
④検討段階である ⑤策定していない

→上記 Q9.で「①～③」を選択された方にお伺いします。

Q9-2. BCP 策定にあたり、支援を必要としましたか？

- ①専門家による支援 ②商工会議所、商工会による支援 ③特に必要としなかった
④その他()

→上記 Q9.で「④、⑤」を選択された方にお伺いします。

Q9-3. BCP 策定にあたり、最も大きな課題は何ですか？

- ①コストの問題 ②人材の不足 ③特に課題はないが計画の必要性を感じない
④その他()

※BCP を策定した企業には、税制優遇措置や補助金の加点制度が適用される場合があります。また、セミナーの開催に加え、商工会議所や商工会において経営指導員による策定支援を受けることも可能です。ぜひ、これらの支援制度を有効に活用し、事業継続力の向上にお役立てください。

◆来客・売上の状況について

Q10. 一年前(令和6年1～6月)と比較して、来客・売り上げは増えましたか。

- ①来客・売り上げともに増えた ②来客が増えた ③売り上げが増えた
④いずれも変わらない ⑤いずれも減った ⑥その他()

→上記 Q10.で「①～③増えた」を選択された方にお伺いします。

Q10-2.それはどのような理由からですか(複数選択可)。

- ①日本人客の増 ②外国人客の増 ③一人当たりの買い物単価の増
④経営戦略の成功(具体的に:)
⑤その他()

その他抱えられている経営課題や市の経営支援施策に関して、ご意見・ご要望があればご記載ください。

【自由記載欄】

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました！